

# たんぽぽだより



2016年12月号

今年も後1ヶ月弱になりましたね。1年は早いものですね。

4月熊本地震。私自身ほとんど初めての大きな地震に、恐怖を覚えました。幸い佐世保は大きな被害もなく、良かったと思う反面熊本の様子を見るにつけ、今ここにいる奇跡に感謝をしました。

もうずいぶん前の事のように感じますが、4月の話なんですよ。

今ここに生きている事、それは当たり前ではない事を心の奥に留めておくことも大事だと4月からを振り返って改めて感じます。

子ども達の今はこの時だけ。今日の前の子ども達を大事にしていますか？

最近感じる事は、0歳には0歳にしか感じられない事・体験できない事があります。

0歳児にとって大事なことは、全部を受け止めてもらう事で、人への信頼感が育ちます。“泣いたらお母さん(もしくは保育士)が来てだっこしてくれて心地よい感覚になる”、また“笑ったら喜んでくれる”、赤ちゃんが自分から発する感情に反応してくれる大人がいる、と言う事で人と人とのコミュニケーション・信頼感が育つのだと思います。

基本的に人というのは周りの人に「喜んでもらう」とか、「人の役に立つ」ことがうれしいんです。

最近思う事ですが、良く「ほめて育てる」と言われてるけど、ほめてもらえると嬉しいですが、もっと嬉しいのは、喜んでもらって『ありがとう』と言われることなんじゃないかっていう事を感じるんです。ほめられるというのは人より良く出来てこそ起こる事つまり上下を作ってしまう事だけ、喜んでもらう事って、おもちゃを貸してもらったとか、物を取ってもらったとか、どんな障害があろうとも大人でも、子どもでもどんな人にも出来る事ですし、誰かより上とか下とか関係ないです。

だから「良く出来たねー」より「私(お母さん)の気持ち」を伝えるのが子どもにとっては大事だと思っています。「子どもはお母さんが幸せでいてくれることが何よりうれしい事である」と『かみさまのやくそく』で話されていました。トイレトレーニング中であれば、「失敗しないで嬉しい」とか、「一生懸命作ったご飯をきれいに食べてくれて嬉しい」とか、「このお野菜嫌いって残しちゃって悲しい」とか気持ちを伝えること、これこそが究極に子育てに必要なことじゃないかと思うんです。そうすれば子どもも、うまく言葉で気持ちを伝える事が出来るようになってくるんじゃないかと思うんです。

どう思いますか？

お知らせ

第3者委員が決まりました。(第3者委員とは、直接園に言えない苦情などを受け付ける窓口です。)

権常寺マルキョウ前の「おしゃれのユーミ」さん

保育サロン  
たんぽぽ

目 標:元気に遊ぶ。

ねらい:寒さに負けないからだづくり。 外で元気よく遊ぶ。

つぼみ組:冬の衛生管理に留意し健康で快適に生活できるようにする。

もも組:寒い時期においても、保健的で安全な環境の下健康で快適に過ごす。

衣服の着脱等簡単な身の回りを自分でしようとする。

ゆり組:イメージを共有し、友達とごっこ遊びを楽しむ。

冬の訪れを感じながら、身近な自然に関心を持つ。

さくら組:寒さに負けず友だちと一緒に体を動かして遊ぶ。

すみれ組(4歳児):身近な自然の変化やこの時期ならではの行事を通して、冬の生活に興味・関心をもつ。

すみれ組(5歳児):季節の変化や冬の暮らしに関心を持ち、健康で安全な生活に必要なことを進んでする。

## 12月の生活目標

つぼみ組: 寒さや活動に応じて室温や換気・衣服の調節に留意し健康で快適に過ごせるようにする。身近な自然の変化に気付き、運動・遊び・体を動かす楽しさを味わう

もも組: 排泄の前後に言葉や動作で知らせるようになり、トイレで排泄する。手や指先を使う遊びや製作をたのしむ。園庭や公園の遊具などを利用していろいろな動きを楽しむ。

ゆり組: ・寒暖の差に留意し、一人ひとりの健康状態を把握して体調の変化に対応する。気持ちを受容することにより、安心して自分の気持ちを表現する事が出来るようになる。・尿意を感じると自分でトイレに行こうとする。経験したことや嬉しかった事など、自分の言葉で伝えようとする。物の大小や、多い少ない等の違いに関心を持ち、保育者と一緒に見比べたりする事を楽しむ。

さくら組: 戸外から戻ったら手洗いうがいなどを、行い風邪を予防する。一人一人の表現や行動を認めたり、励ましたりしながら頑張る気持ちを育てる。自分なりの思いを伝えられるように、一人ひとりの気持ちを受け止めていく。

すみれ組(4歳児): ・冬の生活を知り、健康で快適に過ごせるようにする。冬の健康的な生活の仕方(手洗いうがい・鼻をかむ・咳が出たらマスクをするなど)がわかり、進んでする。身近な自然の変化に気付き冬の訪れを感じる。自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いを聞きその思いに気付いたりする。

すみれ組(5歳児): 風邪の予防を意識して、手洗いやうがいをていねいに行う。自分の体調の変化を保育士に知らせる。友だちの良さや頑張っていることに気付きお互いに認め合う。年末年始の行事や習慣に興味を持ち親しむ。初冬の自然に興味を持つ。

おねがい

子どもさんの下着ですが、ロンパースではなく上下で分かれている方が、子どもの動きを制限しないので良いです。全部買い替える必要はありませんが、今度買い替えされる時は、よろしくお願ひします。